2017年9月20日 第74号(1)



サポートやお' ボランティアだより

第 74 号 2017 年 9 月 20 日

★発行 社会福祉法人 八尾市社会福祉協議会、八尾市ボランティア連絡会











in 大畑山苑

太陽がギラギラ輝いて、毎日暑い日が続いています。 夏といえば、海水浴、花火、スイカ、お盆休みなど・・・ そして祭り。



今日8月5日(土) 〔大畑山苑〕 にて、夏祭りが行われるということで、取材させていただきました。

〔大畑山苑〕では、毎年恒例になっている夏祭り、 "ひまわりの会"のみなさんが、活躍されていました。

午前11時に集合し、控え室に通され職員の方から説明を受けました。"ひまわりの会"のみなさんの他に、 関西福祉短期大学の女子学生のみなさんも来ておられました。

12時30分から始めるということですが、それまでどう 過ごそうかと考えていると、お茶とお弁当が出てきて少 しびっくりしました。

ボランティアの私たちにも気を遣ってくださり、優しい 心遣いに感謝、感激です。

"ひまわりの会"のみなさんは、とにかく明るく元気いっぱいの方々です。楽しいお話しを、たくさん聞かせていただきました。

祭りばやしが聞こえてきて、いよいよお祭りの始まりです。屋内では、射的、輪なげ、金魚すくいなどがあります。入居者のみなさんが会場に入って来られたので、学生のみなさんが優しく説明したり、車イスに乗っておられる方が、上手にできるようにサポートされていました。みなさん輪なげや射的で賞品を受け取って喜んでおられました。職員さんも浴衣姿で、祭り気分を演出されていました。

中庭では、真夏の日光を浴びながら汗だくになって、 法被姿の"ひまわりの会"のみなさんが、フライドポテト、 ナゲット、どて焼き、たこ焼き、焼きそばを作っています。 美味しい匂いに誘われて、みなさん中庭に出て好きな 食べ物を注文されて、美味しいそうに召し上がっておら れました。

お孫さんを連れて、おばあちゃんに会いに来ておられる方もいらっしゃいました。その微笑ましい、楽しそうな様子を見ていると、お祭りって良いなぁ~と、思いました。



〔大畑山苑〕の職員さん、学生ボランティアのみなさん、そして、"ひまわりの会"のみなさんありがとうございました。 笑顔がひまわり畑のように、いっぱい咲いていましたね!!

2017年9月20日 第74号(2)

社会福祉法人 風の会

共働作業所"**風" ボランティアに答着** 💮 😇







今回はボランティア体験プログラムに参加された"ひ とみ会"の3人の紳士に密着。

午前中は農作業、カラオケの野外活動、作業所での 内職とそれぞれ移動。取材先は…?もちろん農作業。

8月9日午前中とはいえ灼熱の太陽が照りつける畑 の草刈り。つるが伸びたサツマイモの周りを利用者さん と農業指導の方が作業中、そこのお手伝い。日頃から 家庭菜園の経験がある方なので手際よく、指導の方と 会話も弾んでいました。きれいに手入れされた畑を見る と達成感もひとしおでした。

昼食は2階のフロアーで利用者さん、職員、30人ぐら い。みんな一緒に「いただきます!」

午後は 100 均商品や歯ブラシの袋詰め等々。利用者 さんに交じって作業。まるでおじいちゃんと孫のようでし た。

「わたしらは年に数回程度、無理なくできるところに参

加している。」

「リタイヤした後の単調な暮らしの中で、こういう活動 でふれあいがあり、学びがあり、生きる励みにもなる。」

「支援学校は18歳まで。障害のある人達が集まれる 場所があるというのは、大切なこと。」 等々と3紳士の笑顔が印象的でした。



◆作業の様子

ひとみ会の 3 紳士▶

ボランティアの声(32)



ボランティアとは

八尾市ボランティア連絡会

会長 辻田 保子



◆八尾市ボランティア連絡会 会長 辻田 保子

「ボランティア」とは英語で、自らの意思により参加した 志願兵のことで、今では自主的に社会活動などに参加、 奉仕活動をする人を指すようになりました。

阪神大震災が発生した 1995 年は「ボランティア元年」 と言われ、「ボランティア」という言葉を定着させました。

一方、奉仕という言葉は「報酬を求めず、見返りを要 求することなく労働する」という意味で使われ、戦争中は 強制的に働かされていました。

これらの奉仕活動とボランティアの区別は、自発的で あるかどうかで決まります。

昔から自発的な地域の清掃や神社、お寺の掃除など、 個人的な小さな思いやりが「ボランティア」の始まりでしょ

う。

今では組織化され、福祉、教育、地域、災害等、利用 者の二一ズに合わせた多様な活動がなされています。

「ボランティア」は継続する事が重要であり、自分に合 った活動を無理なく続けること、「やってあげなければ」 と気負わず、自分のペースで関わる事。自発性、無償性、 公益性、先駆性を重んじて活動する事です。

今、グループの皆様にとって重要な課題は、人材育 成と資金ではないでしょうか。人材については、啓発す る等は必要不可欠ですが、資金源については、「ボラン ティア活動=無償」の考えが定着していますが、今後は 無償から有償へと「ボランティア」のあり方を考え直す必 要も感じているところです。

八尾市ボランティア連絡会では、ボランティアの皆様 の声をしっかりと聞き、皆様と共に、より良い活動ができ るよう努めて参りたいと思います。

第74号(3) 2017年9月20日

広がれボランティアの輪 (53)

運転ボランティアグループの活動

私たちは、八尾市社会福祉協議会が行っている、外 出の困難な方々の「移送サービス車両」の運転及び助 手業務を約40名で担っています。

毎月第1木曜日に定例会を開催し、各々が都合の良 い日に当番となり、病院等への送迎を行っています。

私はこのボランティア活動を、「社会の役にたっている んだ」と言うような大袈裟な捉え方はしていません。

自分の持っている「時間」を自分自身のために有効に 「消費」しているんだ。色々な時間の使い方がある中で、 有効に使う一つだと考えています。

人生は「時間」の「消費」です。

また、グループでは、定期的に懇親会(飲み会)の開 催や毎年4月には「花見」などを行っています。

このような活動に興味のある方は、八尾市社会福祉

協議会(ボランティアセンター)までご一報ください。 皆 さんのご参加をお待ちしています。

≪運転ボランティアグループ 小林≫



福祉施設訪問(55)

学童保育 "Kids つむぎ"

子どもと高齢者が触れ合える施設

6月にオープンした複合施設「Life つむぎ」にある学 童保育 "Kids つむぎ"を訪ねました。ここは社会福祉 法人が営む、八尾市初の高齢者施設との複合施設です。 現在、小学1年生~4年生までの8名が登録し、利用さ れていました。



▲世代間交流の様子

子どもも保護者も「つむぎの学童を選んで良かった」 と思ってもらえる様に、家ではできない体験をしてほしい と、日々のプログラムを考えられています。また施設で の子どもの様子を知らせるために、月1回「Kids つむぎ たより」を作成したり、週1回施設での写真を掲示したり と、子どもと家族の話題作りをされています。

少子高齢化や核家族化が進み、高齢者と触れ合う機 会が少ないことから、複合施設の利点を活かして施設 内の高齢者と世代間交流を実施されています。

7月の世代間交流では、粉もんパーティーが開催され ました。普段、食の細い高齢者の方がたくさん食べたり、 口数の少ない方がよく笑って話してくれる等変化が見ら れたそうです。また子どもは、車いすを利用していること や手が動かしにくいこと等高齢者と自分の違いを感じ、 高齢者に対する理解を増やしています。子どもと高齢者、 お互いが良い影響を与え、与えられていることが分かり ました。

今後は、キリンこども園との交流も検討されており、ハ 尾市初の民間学童保育が、今後どのような取り組みを されていくのか、とても楽しみになりました。

2017年9月20日 第74号(4)

ボランティアセンターからのお知らせ

ボランティアお試し講座

八尾市ボランティア連絡会に登録しているグループによる講座を開催します。

一日手話講座

手話をしてみたい方、手話に興味のある方な ど手話に触れてみませんか?グループの活動 雰囲気も感じられます。

日時:10月13日(金)午後7時~8時15分

場所:八尾市立社会福祉会館 2階 集会室

定員:15名(申込順)

講師:手話サークル どんぐり 申込受付:~10月10日まで

いきいき歌体操体験

簡単な指体操や歌に合わせての全身体操な ど、体と脳を動かし、活性化しませんか?楽 しい歌体操を体験できます。

日時:11月29日(水)午前10時~12時

場所:サポートやお 2階 多目的ホール

定員:20名(申込順)

講師:八尾いきいき歌体操グループ

申込受付:11月1日~

プラットホームへの新規加入団体のご紹介

プラットホームに新しいグループが加入されました!!

ぽこの会

子どもを対象に、絵本の読み 聞かせ活動をされています。

アロハ フラ スタジオ

フラダンスを通じて、ボラン ティア活動をされています。

JA 大阪中河内女性会

読書ボランティアサークル「おはなしぽん」

子どもや高齢者を対象に、絵本や紙芝居 等の読み聞かせ活動をされています。

桐の会

琴の演奏活動をされています。

社会福祉法人 八尾市社会福祉協議会 ボランティアセンター

〒581-0018 大阪府八尾市青山町4-4-18 八尾市在宅福祉サービス ネットワークセンター内(サポートやお)

電話:072-925-1045 FAX:072-925-1161 syakyoyao@mth.biglobe.ne.jp

◇社会福祉会館・サポートやおへの道順◇◇社会福祉会館・サポートやおへの道順◇



(徒歩) (社会福祉会館) 近鉄八尾駅より7分 JR八尾駅より10分 (サポートやお) 近鉄八尾駅・山本駅・ 高安駅よりいずれも 20分

編集委員:大下 地恵子、尾崎 光二、二葉 登代子、森原 榮子、舘 邦夫、

藤後 聡子、小林 昇、瀧井 孝、伊東 朋子、上東 百合子